

## 大鹿村リニア対策委員会報告

大鹿村はリニア工事による生活や環境に与える影響をできる限り少なくし、リニア工事が地域経済や村づくりに貢献されるよう、「大鹿村リニア対策委員会」で要望事項や対策を検討しています。3月に開催された第4回対策委員会の内容を以下のとおり報告いたします。

### 第4回対策委員会 (平成27年3月24日 午後1時30分～4時10分開催)

#### ○協議事項(1): 事前に対策委員から提出した質問事項についてJR東海の説明(主なもの)

質問事項	質問内容	JR東海の回答
○変電施設及び送電施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>●送電線は本坑や先進坑以外の方法で地中化できないか。</li> <li>●開業後にどのくらいの人が常駐するのか。JR東海の社員は常駐するのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中電に電気使用申込みをし、中電とも協議中だが架空線でいきたい。(委員意見:引き続き地中化を検討願うよう要望。)</li> <li>●変電所について新幹線では現在無人化。現時点では未定。将来的には無人になる可能性高い。</li> </ul>
○非常口(上蔵・上青木・釜沢)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●残土運搬は昼間(午前8時～午後5時)とされているが、ストックヤードが施工ヤードと近接している場合も、夜間の残土運搬はしないという説明に間違いはないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヤード内に発生土の仮置き場を設置する計画。夜間作業で生じた発生土は施工ヤードに仮置きする。夜間のうちに積込・運搬することは基本的におこなわない。</li> </ul>
○松川インター大鹿線の改良	<ul style="list-style-type: none"> <li>●具体的な改良計画をいつ示してもらえるか。</li> <li>●四徳大橋の拡幅、半の沢橋の仮橋設置等で、全線2車線化を是非お願いしたい。</li> <li>●改良工事終了予定はいつ頃と考えているか。改良工事が終わらない内は残土運搬しないという説明で間違いはないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現時点で4地区の測量範囲で県と協議中。協議が整い次第なるべく早くお示ししたい。</li> <li>●技術的な検討はおこなったが、四徳大橋の拡幅は工期・費用・河川協議に時間が掛かるため正直困難である。半の沢橋は仮橋を設置してとの提案をいただいたが同様に困難と考える。このため、橋の前後を改良することにより交通への影響を低減していく。(委員意見:現在の改良計画では住民の理解は得られない。再検討願う。)</li> <li>●改良する延長によって工事期間は変わってくるため、県との協議が整い具体的になった段階でお話ししたい。当然ながら改良工事はなるべく早く終えたい。発生土の運搬は改良が済んでから開始したい。</li> </ul>
○釜沢非常口周辺 ○その他村内	<ul style="list-style-type: none"> <li>●残土搬出までに必要なストック量予測と村内ストックヤード計画の説明を願う。</li> <li>●残土仮置き近年の雨による土砂災害の危険性などをどのように考えるか。</li> <li>●ストックヤードは環境アセスメントを行った後で決定するのか。</li> <li>●最終的な残土置場が決まらないと工事にかかれないと回答しているが、そういう理解で良いか。ストックヤードがそのまま最終的な残土置き場となることは認められない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●詳細についてももう少し精度が高まったところで説明させていただきたい。</li> <li>●仮置き場(ストックヤード)であっても通常の発生土置場と同じ基準で施工をおこなう。地質調査・測量をおこない、発生土の土質に応じた法面勾配、よう壁、排水設備の設置を検討し土砂崩壊等が生じない措置を講じる。</li> <li>●場所の選定や関係者との調整をおこなった後、環境保全措置の内容を詳細なものにするための調査及び事後調査という形で実施。アセスが終わってから場所を決定する。</li> <li>●工事の発注の段階において決定に至らなくても、地権者・地元と調整中であれば工事の着手は可能と思われる。ストックヤードは基本的に仮置き場と考えており、撤去が前提。地元から要望があれば置いておく選択肢もある。</li> </ul>

質問事項	質問内容	J R東海の回答
○大気質・騒音・振動	●小学校周辺に観測地点を設けるよう要望。	●評価書で示した予測地点でおこなうことを基本に考えている。小学校周辺にも予測地点を設置してあります。詳細な工事検討に合わせて地点の配置は決定していきます。
○地下水・水資源	●村水源など重要な地点は月1回の観測ではなく、自記観測計による常時観測はできないか。 ●トンネルの防水措置について、トンネル自体の防水であるか、山から出ることを防ぐ防水であるか説明願う。なお、トンネル自体の防水である場合、山の水が減らない対策は可能であるか。 ●過去の工事実績に基づく防水効果のデータを公表願う。	●長野県環境影響評価技術委員会からも“自記水位計の設置を検討すること”との意見があり、今後必要に応じて設置ができるかどうかも含め検討していきたい。 ●トンネル自体の防水です。トンネル掘削は、必要に応じて先進ボーリングと最先端の探査技術を用いて前方の地質、地下水の状況を把握します。トンネル坑内から薬液注入したり、掘削後のトンネルには防水シート、覆孔コンクリートを設置して水位の低下を低減します。 ●提示できるものがあるか確認させてください。
○住民の理解・合意を確認する期間、方法	●小渋線の改良計画や国道152号の代替ルート、工事車両の走行台数の平準化について具体的な数字を示された後、周知等にある程度時間をかけて住民の理解を得てからでなくては、釜沢非常口の工事説明は受け入れられない。先日のスケジュールによる同時期の工事説明会は不可能である。住民の理解・合意を確認する期間、方法をどのように考えているか。	●住民のみなさんの理解を得る方法の一つとして、リニア対策委員会の枠組みを利用させていただければと考えている。時期・方法については村とも相談しながら一緒に考えていきたい。今後も住民のみなさんの理解を深めていただくために丁寧に説明をしていく姿勢に変わりはありません。(委員意見：毎回同じ説明とならぬよう、国・県・村と話を詰めてもらい具体的なものが決まるように進めてもらいたい。)

○協議事項(2)：委員より「排出土」問題について有識者による講演開催の提案。

・リニア対策として委員会で開催すべき内容であるか事務局で講師に打診することとした。

○次回委員会は4月27日(月)午後1時30分開催としました。

## リニア着工前の村内調査状況について

○現在行われている調査の状況及び今後の予定(平成27年4月27日現在)

調査名	調査内容	調査範囲等	調査期間
基準点測量	・非常口周辺の基準点測量	○釜沢地区 ○上蔵地区 ○青木地区 ・基準点設置、測量機による観測：各地区5ヶ所	H27.4月下旬～6月上旬
中心線測量	・橋りょう予定地周辺の中心線測量	○上蔵地区 ・小渋川橋りょう予定地付近に中心点を設置	(今後の予定) H27.6月上旬～7月上旬

\*水資源調査及び地質調査は引き続きおこなわれています。

\*上記調査状況は大鹿村ケーブルテレビ文字放送・データ放送でも確認いただけます。